

工

名古屋電氣學校

移轉増築決定

移轉先は若水町運動場
來四月新學期迄に完成

東海唯一の専門電氣技術者養成機關として多年の光輝ある歴史を有する名古屋電氣學校は近年電氣工業の躍進に伴つて入學志望者激増し現在の校舍では到底收容し切れず、且實驗室、實習設備等の充實を計る必要に迫られて居るので、校舎の移轉擴張は一昨年頃より同校幹部間にて問題とされ所々候補地を物色中であつたが、今回いよいよ「移轉斷行、新築敷地を東區若水町同校運動場とする事に決定した。既に縣知事の認可も下つたので目下基礎工事に着手して居るが來る四月新學期までに完成の見込み、又一部は特に工を急ぎ三月下旬の第四十七回卒業式は新築校舎にて舉げられる豫定である。同敷地は下掲地圖にて明かなる如く振市プールの西、機器製作所の東隣に當り池下又は仲田停留場より徒歩にて約十二三分の行程である。(夏季には市營バスの便がある)現在の位置に比較すれば通學の点に

於てやゝ不便を感じる向もあるであらうが、四圍閑靜にして空氣も良く、勉學には絶好の位置である。又校舎新築後も尙相當の余裕があり充分運動場として使用し得ることであるから生徒の保健上にも好都合であらう。

尙現在の校舎は移轉後も存置し入學照會、願書受付等の事務所として使用し、又講習會々場に充てることである。

新卒業生に

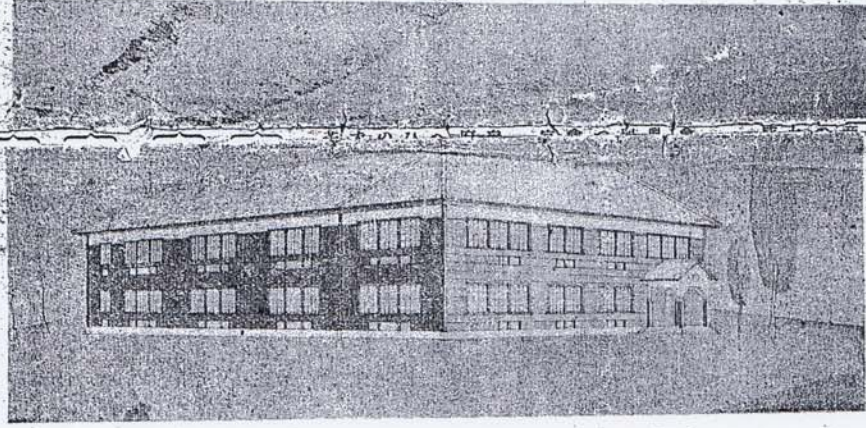
採用申込殺到

名古屋電氣學校は來る三月下旬第四十七回卒業式を舉げ約百十五名の新卒業生を送る豫定であるが之に對して早くも昨年夏頃より各官廳會社より採用方申込があり係員を面會させてゐるが一月十日現在に於ける就職決定者は左記約八十名に達し内二十余名は既に實務に服してゐる、尚他に新卒決定したる者約三十名、而も申込は陸續殺到しつゝあるから結局現本科生は全部卒業前に就職決定するものと見られてゐる。

昭和十二年二月十日印刷
昭和十二年一月十五日納本
名古屋市中區新築町三丁目三番地
編輯發行人 後藤 謙
印刷所 中京毎日新聞社
名古屋市中區新築町三丁目三番地
名古屋電氣學校出版部
電話東局一七番

定價 一部 金五錢

- 三菱 石田三郎、岩田櫻、大橋忠夫、丸村征一、加藤明、加納房雄、角矢登、近藤隆、清水泰、鈴木壽一、高橋岩夫、竹内角夫、土田登志男、丹羽利隆、阪野三、阪野清一、松岡義三、村橋隆司、吉川義任、渡邊久雄
- 大日本紡 石田逸夫、市木義敬、猪俣俊平、岩田勝一、小川逸夫、大河内勝義、加藤一平、加藤通、河本康正、黒田良三、近藤光義、近藤陽一、近藤眞次、柴本實、瀧澤健豐、服部良夫、林將幸、吉田繁一
- 岸和田紡績 安達覺、中野加門、春藤圭三
- 通信局 石野清
- 中部電力 市川公平、犬塚茂好、梅鉢稔、川瀬一男、鈴木正義、岡部助一、長尾寛、田邊勘一、高林政吉、花井正直、山田裕一
- 東邦電力 伊藤清順、小澤甲一、神谷証一、藤田茂、坂倉清美、高見米次郎、立松正一、寺尾博之、西尾正勝、水野義正、森井信雄、山守幸雄
- 豊田織機 伊藤寛
- 伊藤政次
- 伊藤政次
- 伊藤政次
- 東洋フェルト 奥田豊



名古屋電氣學校轉移第一工期事豫定圖

小坂製鋼 恩田正雄
機械製作所 勝幸一
機械製作所 木下林作
京波送電 金夏歌、藤澤美廣
京都電機 坪田博
合同電氣 中原宗一、村尾久男
大同製鋼 村瀬忠男
自營 村松勇
兵部廠 力石重丸
高専科 關山弘、吉田一平

現在審査中ノ者
東邦電力(第二次) 富安孝治外八名
日立製作所(申込十名) 戸谷澄男外四名
矢作水力(申込四名) 堀木嘉明
電氣協會(申込四名) 石井敏雄外二名
東海セメント(申込二名) 荒川文吉外一名

(以下略)

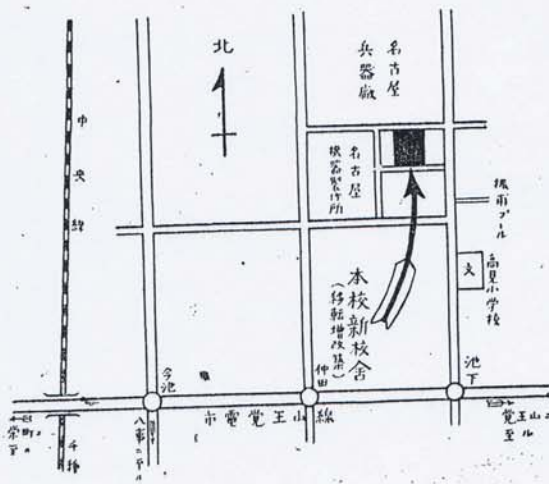
生徒募集

「入學案内」無代進呈

書間部豫科二年一期

尋常科でも高等科でも小學校を卒業した者は無試験で入學することが出来る、しかし定員を超えれば即日受付を締切から、なるべく早く手續きされたい。入學願書は「入學案内」に添へてある。

各級欠員補充 (四月七日各級編入試験舉行)



名古屋電氣學校

名古屋市中區新築町三丁目
電話東局一七番
振替名古屋八〇一〇番

地定豫築増舎校
付受てに舎校現は書願學入し但



名古屋電氣學校同窓會欄

名古屋電氣學校同窓會に就いて

名古屋電氣學校同窓會は、名古屋電氣學校創設者、故後藤三郎先生の御創立によるもので、始めは名古屋電氣學校校友會と稱したが、幾何もなくして現在の如く、名古屋電氣學校同窓會と改稱するに至つた。

母校名古屋電氣學校は、大正元年に創立され、今日昭和十二年を迎へて實に滿二十五周年に當る。而して校運は年と共に隆盛に赴き別項所載の如く、東部緑ヶ丘に新築移轉さるゝ事となつた。

此間に母校の課程を終へて、我が同窓會會員となつた者實に三千餘名。しかも各員は、夫々全國電氣事業界に雄飛し、夫々地歩を築き、我國電氣事業界に一大勢力を奮いつゝあることは、我々會員一同の大いに誇とする所である。

現在の本會は、現名古屋電氣學校校長野正五郎氏を會長に、名古屋電氣學校主務藤野二氏を副會長に推戴し、第一回卒業生日本共立工業社主五風藤野氏を理事長とし、十數名の幹事及數十名の評議員を夫々任命し、會員相互の親睦と向上を會是として、大いに奮闘しつゝある。而して母校を勤め會員江本巴氏(第十五回)及古瀬元太郎氏(第三十九回)を常任幹事とし、會務及會計を司らしむるを本部支部分り、就職紹介、會員の原簿等々を構成し、會員と本部會員相互間の連絡及福利増進と向上に努めるが次第である。

僅て三、四十餘名の會員は、如何なる任務に精進し、且如何なる地方に分布し、飛躍してあるであらうか。

其の就職方面は實に多方面に亘つてゐる。即ち、先づ電燈電力会社に勤務する者を考へれば、技術方面の事務に當る者、發電所變電所に勤務する者、或は電氣機器の試験内外線工事に従事するもの、設計に當る者等々に各々占めてゐる。さては、官廳方面即ち鐵道、逓信兩省關

係の仕事に當る者がある。

鐵道に於いては、電化された區間にては、發電電所、電氣機關車關係等があり、一般に電氣關係として、事務、設計、電力係、通信係、車電係等々がある。一方逓信關係に於いては、電報電話の電線係、交換機方面の技術、其他各種の技術的業務方面に活躍してゐる。

更に、電氣鐵道事業がある。發電電所、車電、信號、等々は吾等同胞會員の勤務しつゝある所である。

或は、電氣機器製作所があり、各種工場、電氣部、電氣化學工業、電氣製鋼業あり、故送局、無線局あり、各種家用電氣事業等々。我等會員の活躍方面は實に多方面である。次に落してならぬ事は、商業方面である。即ち、電氣機器の販賣、電氣工事の請負、ラヂオ並に一般家庭電氣器具類の販賣等々に、多數の會員が夫々活躍しつゝあるのである。人々は、現代人類は電氣の文化であるといふ。電氣が吾々人類に、如何に多くの福祉を與へつゝあるかは、此處に筆が盡すに及ばなく、既に諸報の詳し事情である。但し、餘りにも吾人は電氣の恩恵に馴れて、電氣を忘れてゐるが如き奇現象である。さりながら電氣が吾人の各方面に寄與してゐる様に、我等同窓會員の探りつゝある務は、實に多方面に亘つてゐるのである。此處に述べたのは、其の一小部分に過ぎない事を記憶されたいものである。

次に我が同窓會の支部について述べれば次の通りである。

會員總數三千餘名の中、約三分の二期二千名は、内外地方に其の半數約一千名は、名古屋市内に活躍してゐる。而して残る一千餘名は、遠く郷國を離れて、我が國は勿論、滿洲國及中華人民國にまで、廣く活躍してゐるのである。

次に支部エレキ會につき順次説明を進めて行かう。

先づ市内より出發すれば、東邦電力に奉職する會員の組織する「東邦エレキ會」がある。このエレキ會に所屬する會員實に二百餘名、

坂根健児氏(二回)井川三氏(一回)井戸明夫氏(六回)等を中心として、一大勢力をなしてゐる。

次に名古屋逓信局奉職者の組織する「逓信エレキ會」がある。宮崎延一氏(六回)林三三氏(六回)鈴木敏氏(六回)等を中心とし、二百五十餘名が、ガツツリミスクラムを組んで向上に勵んでゐる。

又、「鐵道エレキ會」は、堤二郎氏(二十九回)を實行委員長として、百五十餘名の會員が一致團結すべく、目下奮々結成に運びつゝある。かつて名電友會として、水野賢次氏(二回)の努力により、大いに奮つたものであるが、水野氏は始め多數の幹部が、或は地方に、或は滿洲國鐵道に轉任したため、中心が失つてゐたのである。吾々は一日も早く往時の隆盛を再現す事を心から希ふものである。

更に市電氣局には、「業電俱樂部」がある。山田嘉郎氏(二回)を中心とし、三十五名の會員が、中堅技術員として大いに氣を吐きつゝある。而かも支部は、團結力極めて固く、三十餘名が一身全部は、團結して事に當りつゝあるは、他の支部エレキ會の探つて模範とするに足るものがある。

又、名古屋鐵道株式會社は「名鐵エレキ會」がある。小笠原清彦氏(一回)酒井梅吉氏(四回)山田勇氏(二十三回)等を中心とし、百五十餘名の一大勢力である。

二十餘名の一大勢力である。三菱電機名古屋製作所に在職會員の會である。淺井撰一氏(二十三回)を支部長に推し、伊達次郎氏(二十五回)井上勝夫氏(二十三回)等を中心とし、七十餘名が團結してゐる。

矢作水力には、野田重次氏(一回)を中心として十六名が矢作水力エレキ會を組織してゐる。

其他方々々々教養には暇がないが、市内には次の様なエレキ會支部がある。

「三菱航空」大同「日本毛織」日本車輻「帝國糖業」大同電氣製鋼「名古屋工廠」千種兵器廠「愛知時計電機」日本陶器「瀬戸電機」豊田紡績「全菊井」全鐵機「放送局」愛知電機「東洋紡名古屋」全大機「全愛知」大田電機「高島」牧田「日本硝子」大阪電氣暖房「丹羽電氣」大同六郎「東京モスリ」加藤電氣「服部紡」東海電機等々々。

以上の都合上一々會員數と委員名を挙げ得ないは甚だ残念である。何れ様を更めて之に關する時もあると信ずる。右支部會員及委員の御懇望を切に希望する。

一歩市外に出れば、更に又次の様な關係支部がある。

「東京」京都「滿洲」長野「木曾川筋」中「津」多治見「四日市」津「宇治山田」大阪「大垣」名鐵岐阜「岡崎」刈谷「豊橋」濱松「豊田」等々々。

何れも十數名以上百餘名を有する支部エレキ會である。而して市内エレキ會員と異なり遠く母校を離れた會員の事として、何れの支部も皆團結力強く、常に本部は鞭撻されてゐる有様である。

以上は、極めて大略の状況であるが、我々會員は、何れも致願し、一路上で奮に努力しつゝあるのである。此處に昭和十二年の新春を迎へ、且は母校創立滿二十五周年の記念すべき年を迎へて、會員一同の決意には更に一段の固さを加へた。乞ふ請ひ上。吾等が本年の活躍を、更に未來の奮闘を、節目として候。

(昭和十二年新春 丑生)

就職紹介欄

- 市内菜商會 新夜間部在學生 數名
 - 市内菜工場 妻生 一名
 - 全業紡績工場 廿才才で一名
 - 三原綿下業紡績工場 十九才才で一名
 - 市内菜運會社 二十才才後 三名
 - 岐阜縣下セメント工場 二十三、四才 四名
 - 市内業紡績工場 二十才才前 二名
 - 岐阜縣下業紡績工場 二十才才前 二名
 - 縣下業紡績工場 十七八才 二名
 - 市内業電機商會 若干名
 - 縣下業電機商會 若干名
 - 市内業電機商會 若干名
 - 縣下業電機商會 若干名
 - 全前 夜間部在學生 四名
 - 關東地方業電機工場 四名
 - 市内業セメント會社 二名
- 上記の如く求人申込殺到し居るは、會員中より求職申出皆無の状態である。之は如何なる理由によるのであらうか。甚だ遺憾に苦しむ所である。本報披見の會員諸君御自身のみなならず、諸兄の知友にて求職中の會員あるは本部宛通信又は出頭を勧誘されたい。(江水)

會費領收

- 東邦エレキ會 (會費拾圓五拾錢也)
- 1 神谷武則 8 稻垣虎雄 8 井上定市
- 8 岡田藤三 9 細川博 9 八幡和雄
- 10 鈴木喜芳 11 伊藤好三 13 山野 洪
- 14 坂口惣一 15 伊藤洋良 15 森島 榮
- 17 庄田一郎 18 柴田寛一 19 加藤惣一
- 21 加藤重三 22 大野優一 22 前野藤一
- 22 鬼頭千代吉 23 淺野益三 26 藤原日光司
- 27 平野元三郎 28 池田初雄 29 丹羽錫之助

名古屋電業組合員 (二)

會員動靜

39 大島軍治 矢作エレキ會加名 長野縣下伊那郡豐村和合 豐電所

30 和田貞夫 30 藤橋軍治 31 前野 實

32 菅義明 32 久須美壽一 34 奥村健策

34 加藤敏文郎 34 根本八十八 34 淺井鉦次

34 館原 清 36 吉田三藏 36 佐藤重五郎

37 長坂之丞 38 加藤一麻 40 中井茂雄

40 谷口 勇 40 水野銀造 41 中根隆次

42 三宅三男 42 三宅三男

丹羽エレキ會 (會費圓五拾錢也)

15 丹羽銀銀 36 月田金男 37 吉田政一

42 岡田正一 45 水野尚秋

其他 43 水野 仁

木曾川筋エレキ會加名

22 小澤義雄 木曾發電電線建設事務所

23 水野利一 大岡電力桃山發電所

32 黒宮義明 名古屋支店東部營業所

33 伊藤英一 名古屋支店西側營業所

名古屋市中區藤原町字宮裏五一

名古屋市中區藤原町字宮裏五一

名古屋市中區西四日町字山王

45 加藤勝芳 名古屋鐵道 新川變電所勤務

27 左高榮二 十一月十八日死亡

29 浦川勝夫 十一月廿四日死亡

東邦エレキ會加名

32 久須美壽一 名古屋支店西側營業所

名古屋市中區藤原町字宮裏五一

名古屋市中區藤原町字宮裏五一

名古屋市中區西四日町字山王

名古屋電業組合員 (二)

東區古田町二二一

マルハチ商會 電話一六八六番

一室市四ツ谷一八

マルエム商會 電話一宮二二〇一

東區久屋町七、七

二葉商店 電話東四九四五番

中區東陽町二、一三

福島電機商會 電話中〇九八八番

中區東陽町六、四二

不動電氣商會 電話中三七二三番

中區西新町二、一〇

小林電氣商會 電話中二八五五番

東區移之町一、二〇

愛工社 名古屋出張所 電話東七四五二番

東區徳川町一、二〇

愛知電機商會 電話東四五六一番

東區武平町四、一〇

愛知電氣株式會社 電話東二四〇七番五〇九四番

中區米野町中田二〇

愛知電氣製作所 電話西三四二六番

東區市中場町二、一三

荒尾商會 電話東二一〇四番

東區久屋町四、九

株式會社サカエ商會 電話東七六四六番〇四五九番

中區古澤町八、一〇

サカエ商會 電話南二六一三番

西區西陽町二、四

三和電氣土木工事株式會社 電話西〇三九四九番九六四番

東區千種町内山七六

合資會社極東商會 電話東六七八八番

中區長池町二、二二

共電社 電話東三六〇二番

中區西四日町仲七八

三枝電機製作所 電話西三三七六三番

四區六初町一、二二

三輪電氣商會 電話西一九九一八番

中區宮前町二、一四

水野電氣商會 電話中四二三五番

東區朝日町二、一三

株式會社島田硝子 電話東四四七九番

西區北野町四、二

伊藤電機商會 電話西〇三五〇番

中區東通八、一七

昭電社 電話南二五〇七番

中區南大津町二、一三

菱喜商會 電話中二三四八番

西區御幸町六、五

株式會社守谷商會 電話南一四八二番一四八三番

中區大井町六

森電機製作所 電話南一七一六番

南區金山町三五

森順商店 電話南三二二六番

南區東町新宮坂一五

須賀電業社 電話南三五九二番

中區南大津町二、一五

スズヤ電氣店 電話中四四〇八番

南區熱田白鳥町

岩瀬商會 電話東六八二〇番

南區熱田白鳥町

柏崎電氣商會 電話東四四〇八番

南區熱田白鳥町

伊藤電機商會 電話西〇三五〇番

廣告料 六號二十字一頁二十錢 但し最低料金ヲ三圓トス